

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	○居心地の良い共用空間づくり 食事のテーブルで時間を過ごすことが多い。リビングのレイアウトを工夫することで、食事とくつろぐスペースを別にし、気分を変え、更に多機能で有効に使えると考える。	くつろぐスペースを確保し、生活にメリハリをつけ、居心地よく過ごせる	・リビングのレイアウトを変更し、食事とくつろぐスペースを別々に確保する。	6ヶ月
2	29	○地域資源との協働 個々の力を発揮し、その人らしい生活を送る為には、今よりも更に地域資源を活用していく事が必要と考える。	ボランティアや地域の人との協力を得て、個々の力を発揮し、その人らしい充実した生活ができる	・地域ボランティアの要請を行う。ボランティアが来た際には、認知症についてや話し方などを十分に説明し、理解を得る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

## 【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所